

学習指導要領

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- 活用する力の育成
- 学習意欲の向上や学習習慣の確立

児童の実態分析

- 前年度のNRTの結果をもとに作成した学力向上学級化プランの見直し(4月)
- ふくしま学力調査(4月:4~6年)
- 全国学力調査(5月:6年)
- NRT学力調査(2月:全学年)
- 定着確認シート・活用力育成シート

児童の実態・課題

- ・素直で優しく、よく働く児童が多いが、消極的・指示待ちになりがちである。
- ・少人数のため、他者と協働した活動や多様な考えにふれる機会が少ない。
- ・上位の児童と下位の差が非常に大きい。
- ・自分の考えをまとめ、表現する力に差が見られる。
- ・家庭学習への取り組みに差が見られる。
- ・読書量が少なく、本に親しむ時間や空間の確保が必要。



令和6年度 只見町立明和小学校 学力向上グランドデザイン

目指す子どもの姿

- めあてや問いをもち、友だちと協働しながら問題を解決しようとする子ども
- いろいろな考えにふれ、自分の考えと関係付けながら話す子ども
- わかった・できたという喜びを味わいながら、学びの過程を振り返り、学びを深め、活かす子ども

今年度の指導の重点

一人一人が主体的に学習に取り組む態度を育て、確かな学力を身に付けさせる。

数値目標

- ・「学校が楽しい」AB評価90%以上
- ・「授業が分かる」AB評価90%以上
- ・学年読書目標達成 90%以上
- ・学力調査(国語算数) 54達成

Plan

- ★書く力・発言する力・考えをまとめる力を向上させる。
 - ・相手や目的に応じて工夫して書いたり発言したりする指導の重点化
 - ・一人一人が自分の考えをもったり考えを整理するための書く時間の確保
- ★知識と技能を確実に身に付け、活用する能力を育てる。
 - ・個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びの時間の設定
 - ・問題解決的な学習の計画的な位置付けと互いの考えを吟味する時間の設定
- ★学習したことを明確にして振り返りを工夫する。
 - ・めあてとまとめの整合性を図り、学びの成果を生かし実感させる習熟の時間の設定
 - ・共に高め合えた喜びを味わう学びの過程を振り返る終末の設定

福島県施策

- 第7次福島県総合教育計画
- <主要施策1>
「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成する
 - <主要施策2>
「学校の在り方の変革」によって教員の力、学校の力を最大化する
 - <主要施策3>
多様性を力に変える土壌をつくる
 - <主要施策4>
「福島で生きる」教育を推進する

只見町教育施策

- 「誇り教育」への転換
- 学ぶ教育から「貢献する教育」への発展
- 山間地で「グローバルな視点を付加する教育」への発展 等

Do

- ねらい(目標)を明確にする。
- 学びたくなるような「めあて(課題)」を設定する。
- 言語活動を取り入れた授業を展開する。
- まとめや振り返りの活動を確実に進行。

Check

- 【ロングスパンの検証】
- 全国学力・学習状況調査の結果分析
 - ふくしま学力調査の結果分析
 - NRT学力調査の結果分析

- 【ショートスパンの検証】
- 定着確認シートの定期実施と結果分析
 - 授業や事前テスト、単元末テストによる教師の見取りと学び方・考え方のよさの累積
 - 「学力向上GD確認シート」を活用した毎学期の自己評価
 - 互見授業週間の実施や授業研究会による成果・課題把握と指導改善

Action

学年・学級経営の共通目標

- ①学習意欲の高揚
- ②授業規律の確立
- ③規範意識の醸成

「考え合い、分かる授業」を目指した校内研修の充実と互見授業の実施

学力向上GD確認シートから明確になった教師の自己課題を改善する取組

- ふくしまの授業スタンダードを基にした温かい授業づくり
- 1単位時間の授業の充実
 - ①ねらいと評価の明確化
 - ②言語活動を位置付けた授業計画
 - ③指導過程における評価
 - ④思考や活動時間の確保
 - ⑤児童の思いや願い、つまずきを大切にされた課題設定
 - ⑥少人数教育やTTの展開
 - ⑦ICTの活用

- 家庭学習の充実
 - ・子どもたちの状況に応じた内容の提供と支援
- 基礎・基本の定着
 - ・つまずきに寄り添った朝の学習タイムの実施
- 読書活動の推進
 - ・朝読書の実施
 - ・学級文庫の充実
 - ・親子読書「家読」の推奨
- 自己肯定感を高める関わり
- 学校と地域の連携・協働や地域をフィールドとした探究的な学びの推進